

くわばら  
**桑原地区**

人口: 25,688人(高齢化率27.2%)  
世帯数: 12,911世帯

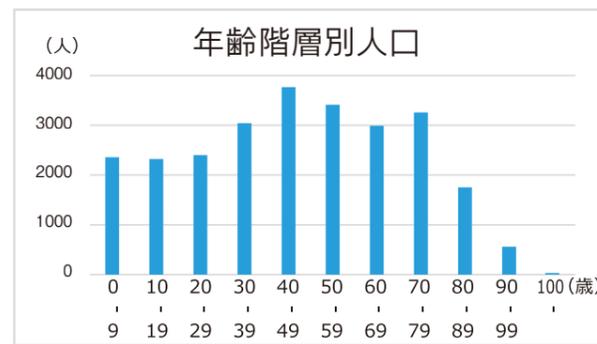


**【地区の特色】**

桑原地区は、松山市の東に位置し、経石山(きょうせきざん)古墳があり古くから開けていた町である。また、松山藩主久松氏の別邸が「東野お茶屋跡」として残っている。昭和40年代後半からは、都市化の急激な発展とともに新興住宅地が広がっている。現在では、小学校三校、中学校、高等学校各一校、大学は短大を含め三大学が立地している。



淡路ヶ峠から望む桑原地区



**【地域住民からみた地域の状況】**

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者多機能型事業所きらりの森と児童館が併設されており多くの人が利用している</li> <li>松山市中心部にも近く、自然にも恵まれており住みやすい環境である</li> <li>2つの大学があり学生や留学生との交流の機会がある</li> <li>交通の便もよく、生活関連施設にも恵まれており、生活がしやすい</li> <li>まちづくり協議会の活動が盛んである</li> <li>青壮年有志の会やくわばら女子会、学生部の交流が盛んである</li> <li>防犯対策が進んでいる ・町内行事に参加者が多く、協力的である</li> <li>サロン代表者会でサロン間の情報交換が図られている</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部地域は住居からお店が遠く、買い物に不便である</li> <li>一部地域はバス停までの距離が遠く不便である</li> <li>災害の時、一部の地域で山崩れやため池の氾濫が不安材料となる</li> <li>大雨による川付川の氾濫の不安がある</li> <li>一部の住民でゴミ出しルールが守られていない</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所のない地区では、横の繋がりが取りにくい</li> <li>買い物場所が遠く、車を持たない高齢者等には不便</li> <li>通学路が狭くて危険な場所がある</li> <li>指定避難所としての桑原中学校は上り坂があるため高齢者等の避難には不向き</li> <li>高齢化で独居世帯が施設等へ入所することにより空き家が増えているため、防犯面の不安がある</li> <li>東部環状線の交通量が多く歩道等の整備が遅れていて危険である</li> <li>公民館区と校区の違いにより、同じ町内でも近所付き合いが希薄になる</li> </ul>

**桑原地区社会福祉協議会** 桑原の郷 みなでささえて安心ぞ!なもし

構成団体	まちづくり協議会・広報協議委員会・地区民協・公民館・水利組合・校区婦人会・町内会 自主防災・消防団・防犯協会・高齢クラブ連合会・土地改良区長会・女性防火クラブ連合会 遺族会・交通安全協会・中学校・小学校・支所・更生保護会・スポーツ協会・いきいきサロン
------	---

主な取り組み	活動内容
福祉講座の開催	地域で高齢者が健康で安心して生活できるように、毎年3地区ごとに福祉講座を開催しています。
福祉教育の充実	桑原中学校の生徒が高齢者福祉施設を毎年2回訪問し、利用者の方々と交流を深め、人を敬う気持ちを育てています。
独居高齢者給食サービス	75歳以上の独居高齢者の方々に、特別メニューのお弁当(商品券)を民生委員・児童委員の協力を得て配布し、喜ばれています。

**高齢者ふれあい運動会(11月頃)**

平成24年から開催している65歳以上の高齢者の運動会で、毎年150名以上が参加しています。高齢クラブやいきいきサロン、地域の高齢者の健康増進や交流の場になるよう活動を支援しています。



**<地区社協が目指すもの>**

桑原地区は、世帯数12,911世帯、人口25,688名(令和5年4月現在)と松山市40地区の中で6番目に多くの皆さんが生活されています。桑原地区社協では、まちづくり協議会や、民生児童委員との連携強化を図りながら、健全な「まち」としての環境を整え、人の暮らしを見据えたまちづくりを推進し福祉の充実を図ります。さらに、高齢者の生きがいづくり・健康増進等のための「サロン」活動やレクリエーション活動を推進し、多様な人材の出会いや交流を深めて活動の幅を広げることに努めます。また、地域の防災・減災・防犯活動を通して地域安全の向上を目指します。

地区の状況	■地区民協	39名	■町内会・自治会・区長会等	22団体
	民生委員		■高齢クラブ	7クラブ
	主任児童委員		2名	■子ども会
	■まち協の設立	平成21年度	■自主防災組織	22組織

市中心部に近いながらも自然豊かで、小学校から大学まで数多くの教育施設が立ち並び文教地区です。高齢化が進展するなかで、高齢者の単身世帯や空き家が増加し防犯や災害時の対応など課題がある一方で、就学児や若者世代も多く彼らへの「福祉教育の充実」や、「高齢者ふれあい運動会」「独居高齢者給食サービス」などの取り組みがなされています。若年層からの福祉教育は、地域住民の一員としての自覚を芽生えさせるほか、自己肯定感や対人関係の向上、人権の重要性を実感する貴重な機会となり、また、高齢者ふれあい運動会は、参加者の心身の健康維持だけでなく仲間意識の向上など地域住民の凝集性を高め、地域住民間のつながりがさらに強固なものへとたらずことでしょう。

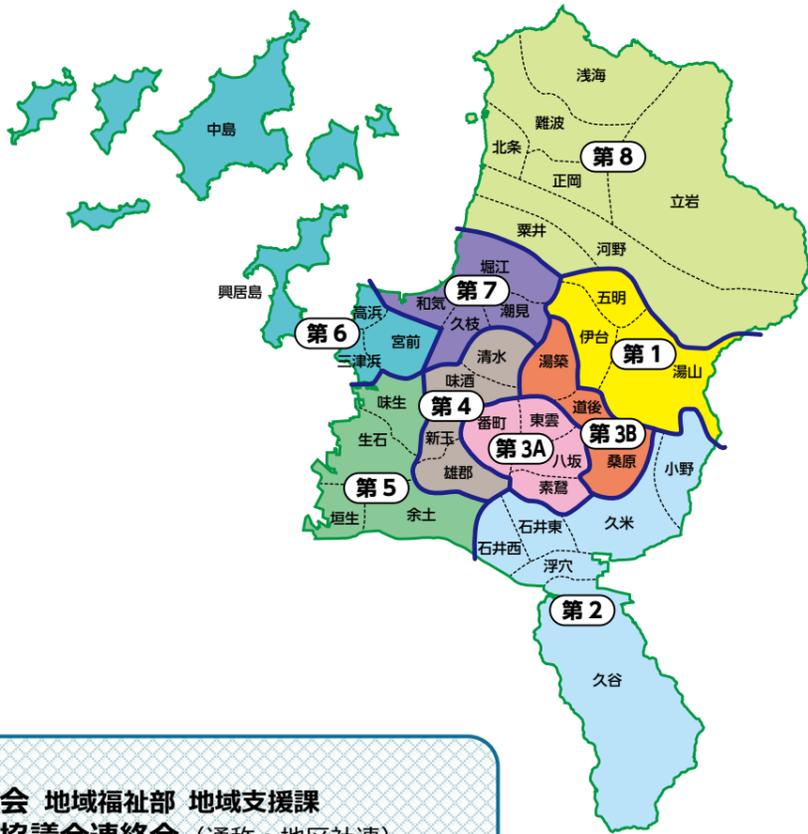


# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
素鷲地区	味酒地区	味酒地区			
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	湯築地区		新玉地区		新玉地区
桑原地区	味酒地区	味酒地区			
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
第5	余土地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	垣生地区		新玉地区		新玉地区
	生石地区		清水地区		清水地区
味生地区	味酒地区	味酒地区			



**発行日** 令和6年4月  
**発行** 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）  
 〒790-0808 松山市若草町8番地2  
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>  
**作成** 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

## <『地域カルテ』の見方>

**①地区の概要**

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に力を入れている。また、五明太郎などの「五明太郎」が自然発生の「五明川が流れており、清流に憩っている。

人口：426人(高齢化率48.8%)  
世帯数：225世帯

**②地域住民からみた地域の状況**

高齢者が多く、この地域が把握できる一家庭内の事情がある程度わかっている。個人で生活して中絶、物取合いもしている。移動サービスが来る。車での通勤。通学時間は通学も20-30分で市内中心部へ行く。自然が豊かで季節を感じることができる。食べ物の心配(コンド)が抱えている。自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。集会所が利用できる。田舎暮らしなど地域の子どもの交流。

**③地区社協の概要と取り組み**

五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き

【地区社協の概要】  
 五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き

**④地区内関係団体データ**

地区民協、まち協の設立、町内会等、高齢クラブ、子ども会、自主防災組織

**⑤地域福祉推進のポイント**

聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

- ①地区の概要**
  - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
  - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
  - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
  - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査(基準日:令和5年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(令和5年7月1日現在)
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数(令和5年5月1日現在)
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(令和5年4月1日現在)
- ⑤地域福祉推進のポイント**
  - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
  - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏